



第15回のテーマは、

「正しいお薬の使用法とお薬手帳」についてです。

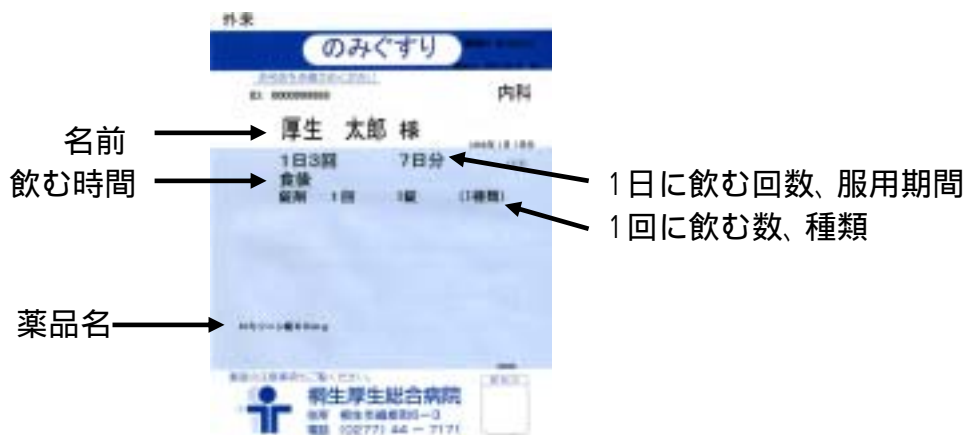
薬の効果を十分発揮させるために、正しく使用しましょう。
創刊号で薬の飲み方の基本を掲載しましたが、薬の効果をより十分に発揮させ、副作用を防止するために、知って守っていただきたいことを紹介します。



薬の袋(薬袋)

薬の袋(薬袋)には、薬を正しく使用するためのいろいろな注意事項が書かれています。
病院・薬局で薬を受け取った時、必ず確認しましょう。

(当院の薬袋)



薬を受け取る時、まず薬袋の名前を確認しましょう。
処方せんで病院や薬局がお渡しする薬は、医師があなたの症状を診察して、症状にあった種類と量を処方します。最初にご自身の薬であるか確認しましょう。
また他の人に薬をあげたり、もらったりしてはいけません。



薬の使用法、回数と使用量

お薬は指示どおりきちんと使用しましょう。

薬は多く使用すればそれだけ良く効くということは、決してありません!
決められた時間に、決められた回数、決められた量を正しく忘れずに使用することが、もっとも効果的であり、また、副作用の防止にもなります。
薬袋に書かれている使用法や量を守って、その通りに使用しないと危険になる場合があります。
また、使用後は必ずもとの薬袋にもどしましょう。



お薬手帳を活用しましょう！

普段、自分がどんな薬をどれ位使用しているか覚えておくことは大変ですよ。

そこでお薬手帳は、処方された日、薬の名前・使用量・回数などを記録に残しておくことを目的に作られています。つまり、それは、自分の医療情報を携帯することになります。

Q. 無料なの？何処でもらえるの？

A. 若干の費用がかかります。

保険薬局で

院外処方せんで調剤する薬局ならどこでももらえます。

病院で

病院の薬剤師からもらうことができます。

外来で薬をもらう時、退院する時など。



Q. どうやって使うの？

A. **できるだけいつも持ち歩きましょう。**

病院・医院・歯科医院・薬局・薬店に行く時には必ずお持ちください。

診察を受けるとき

医師・薬剤師がお薬手帳の記録をチェックし、同じ作用のお薬が重複していないかや、薬の飲み合わせなどをチェックします。また、新しく処方された薬の情報等を記入してもらいましょう。

入院する時

医師・薬剤師が病院の外来や他院で使用していた薬をチェックし、入院中の治療に最適な薬を使用します。

薬局・薬店等で薬を買う時

お店の薬剤師がお薬手帳の記録をチェックしあなたに合う薬のアドバイスをします。

急に具合が悪くなったとき

急に具合が悪くなって病院に行くと、「いつも飲んでいるお薬はありますか？薬の名前は？」と必ず聞かれます。そのようなとき、お薬手帳が役に立ちます。

Q. お薬手帳を使って良い事って？

A.

副作用予防

以前使用した薬で湿疹がでたり、具合が悪くなったり、それを副作用といいます。

副作用の出た薬の名前を記録しておきましょう。

重複・飲み合わせチェック

複数の病院にかかって多くの薬を処方されていたり、市販薬を買って飲んでいる時、薬や食品等の飲み合わせによっては効果が強く現れて副作用が出たり逆に効果が弱まってしまうことがあります。

医師・薬剤師にチェックしてもらいましょう。

症状の変化の記録

薬を使用して何らかの変化があった時は記録しておきましょう。

例えば、「この薬を飲んだら良く効いて楽になった」「だるくなった」「のどが渇くようになった」

「眠くなった」「かゆみが出た」などです。また、次回受診する時のために、相談したい内容を書いておくのもオススメです。

**お薬手帳はあなたの薬の履歴書です。いつも持ち歩き
病院・薬局へ行く時は、医師・薬剤師に見せましょう。**